常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210番

三倍強の競争率 學卒者に狭い就職の門

平職安の窓口より

三月末に学校を巣立つ中学、高校生らは平職安所を通じて就職開拓運動に懸命であるが、常磐炭砿の習技生及び専科生採用が経営合理化から一名も入社させなくなつたことは平職安所の求人開拓に相当の痛手を被らせている、

二十日現在の求人状況と就職希望者数は▽常磐交通バス車掌三十名の募集に対して応募者七十二名、うち三十八名が仮採用に内定、▽片倉製糸女工三十四名を採用したが三倍強の百十五名が試験をうけた、▽呉羽化成四十八名を採用したが、こゝも百二十五名の応募者があつた。

縣外の就職決定 わずかに四名の淋しさ

平職安所で受付けた求人数は県内五百三十三名、県外三百二十七名計八百六十名であるが就職も決まつて卒業に胸をふくらませている数はごくわづかであり県外で決まつたのは静岡県内の紡績工が四名だけと云うさびしさ、

一日平均三十名の中、高校生が職安の窓口を訪れるが女子の大口に引きかえて男子の方は多くて五人位の求人状態である、毎年一月の末ころになると女子は愛知、静岡方面から紡績関係で大量の求人申しこみまた男子は京浜地区から機械工の求人があるので二月に入れば真剣な卒業生たちの就職にもホツト一息つけるとの予想だが、就職戦線は依然難航している。

文化財申請 龍門寺の山門

平市下荒川の古寺龍門寺の門は県下で一番古くしかも昔ながらの豪華なつくりを残しているので、早くから重要文化財として保存しようと言う地元民の要望もあつたが近く市観光課などが主体となつて文化財保護委員会に指定の手続きをとることになつた、

この山門は会津弱竹寺の支那式山門と並んでゆかりがあり、しかも初代磐城領主岩城朝義公のぼたい寺で、山門は今から百八十四年前の明和八年九月の建立「龍門寺」の額は足利尊氏の四男から六代目の藤原朝臣修氏の筆になつている、

大學の設置など 大平市の構想進む

旧ろう隣接町村の合併で一躍六万三千六百九十五名(一月一日現在)、世数帯一万二千八百十六の大家族に膨張た平市は三十年度から大学設置、工場の誘致、観光施設の実現を構想として各市内商店街の発展と合わせて浜通り地方唯一の企業都市を目途に躍進的事業に乗り出すことになり目下関係各課で具体案の立案を急いでいる、

更に二月十一日の南赤井地区の合併により人口六千五百十四名世帯数一千三百二十七の追加家族を迎え入れることになるので総数七万三百名、その世帯数は実に一万四千百五十に膨れ上るが、これと共に毎日平市に雑踏する流動昼間人口にはザツト推定十万人を超えると言われ、観光事業の充実並に商店街の躍進を推算すると五年後の平市に於ける昼間人口は概算二十五万人を誘客することも夢ではなく現在の流動人口の大半が学生、次いで市外からの通勤者によつて大きく支配されているあたり将来大学設置の実現と観光施設の充実が完全に完成されたならば恐らく浜通りは勿論、県下有数の近代都市として誇れることは必然であり、四市合併による福島県の東玄関都市という見地から大常磐市建設も遠い夢ではなく総合開発の進展と共に促進される空気にあり、大学設置などの具体的計画案の出来上りが待たれている。

郡下初の試みで 上荒川橋の建設始む

石城失対事務所では二十九年度橋梁事業の一環として総工費三百十万円を計上、平—磐城線のうち平市上荒川地内上荒川橋=延長八米巾員十一米、高さ五、七米=の建設を去る十七日から県直営事業として着工した。三月末日完成の予定。

同建設工事は従来までのコンクリート建設とは違い、P・Sコンクリートプレキャスト桁という鋼鉄コンクリート(コンクリートにピア線を組み立てたもの)を使用して建設される福島県に於ては唯一の試みと言われ、その完成と成果が期待されているが、同工事の進行は浜通りに於ける各関係技師間の話題となり、視察調査され今後の活用とその耐久力などが注目されている。特に同鋼鉄コンクリートは従来のコンクリートに比べ伸張力、耐久力共に優れ更に工期が短かく事業費が低廉で済むところから第一種(十屯)荷重の橋梁として建設することになり、一日平均五十人の失対自労者を就労、延三千七百人を動員して完成されるものである。

北海道のお友達へ お金と雑誌二十冊

平三小の良い子ら本社に寄託

十九日の夕刻少年少女雑誌を二十冊抱えた五名の少女達が本社を訪れ「僅かですがこれを御社の手で北海道グチアンにいるお友達の手許に届けて下さい」と「少年、少女雑誌二十数冊」と現金二百五十円を屆けて来た。

事情を聞いてみると、数日前のNHK「時の動き」の放送で、「北海道グチアンの子供たちは、汽車にも乗つたことがなく、冬は深く雪に埋れて外出も出来ず、新らしい本も読めない、内地の子供達と比べると本当に気の毒です」という話を聞き、痛く幼な心を打たれたので仲好しグループたちが相談して古本を持寄り、お小使を出し合つて持参したのだという、この純真な子供心に打たれた本社では早速県教委石城出張所を通じて同地に送り届けてる手続きをとつたこの良い子たちは平三小校六年生の丹野紀子、吉田美代子、佐藤秀子、池谷恵津子、奥村恵子さんの五人仲好組グループで、「時の動き」のラジオ放送を聞いて痛く心を打たれ、誰言うとなく「私達で出来ることなら、せめてこの気持だけでもグチアンのお友達に伝えて、慰問してあげましよう」と自分たちの読み古した雑誌を持寄り、お小使を出し合つて本社を訪れたもので、託送方を持ち込まれた県教委石城出張所でも、大喜び一両日中に所長さんの手紙を添えて送り届けてやることになつた。

北洋出漁船 小名浜も決る

難航を続けていた磐城市小名浜漁協の北洋サケ、マス漁出漁船の個人配分は締切り時間一ぱいの十九日正午までもみ抜いた末、新規配分を次の通り決定した。

◆第五大定丸(五二トン)船主久保木定正◆寿和丸(七五トン)船主野崎貞行▽第二三五九(五二トン)船主比佐昭太郎。なお県では締切まで決定のあやぶまれていた小名浜地区が同日正午までに前記の通り決つたので同日午後二時、水産庁に許可申請書を提出した。

解説 新らしい選挙法(二)

▽戸別訪問

これは前から禁止されており、今度も勿論禁止されている。戸別訪問の範囲は有権者の家だけでなく勤務先でも勿論成立し、訪問された有権者が諾否を表さず、直接面会しなくとも訪問者が来訪するだけで立派に成立する。また戸別訪問の脱法行為として特に禁止されている主なる項は

▽選挙運動のために戸別に演説会の開催などを知らせて歩くこと。

▽戸別に特定の候補者の氏名、または政治団体の名称をふれ歩く行為

しかし候補者が親せきや普段親しい間柄の人に、投票依頼でなしに社交上の目的で訪問し、或は選挙運動の帰りにたまたま知人の家に寄り儀礼的な挨拶のあとで、選挙の話などが出た場合「どうぞ宜しく」「宜しうございます」と挨拶が交された場合は戸別訪問にはならない、集会の席上や路上で候補者が「宜しく」と言うような行為は個々面接行為として戸別訪問にはならない。

▽飲食物の提供

選挙運動では如何なる名目でも飲食物を提供することは禁止され、提供をうけた者は罰せられないが提供した者は罰せられる。しかしこんどの改正でその実情からみて次の二ツの例外が認められることになつた。

①茶菓の提供

従来飲食物の提供は禁止され例外として「湯茶」だけ認められていたのが「茶菓」と変つた。有権者が選挙事務所などに立寄つた時など「湯茶及びこれに伴い普通用いられている程度の菓子」が出された場合は食べてもよい、しかしこれはあくまでいわゆるお茶菓子程度であり、豪華なものは勿論いけない。茶菓料の限界は一日について三十円程度が基準とされている

②弁当の提供

選挙運動員や選挙運動のためのアルバイトなどの弁当の提供は、こんどの改正で告示の日から投票の前日まで一日十五人分(四十五食分)の弁当を提供することが出来ることになつている。選挙事務所が二カ所の場合は、この十五人分に六人分(十八食分)が加算される。弁当は一食百円、一日三百円の範囲を越えないこと、もし事務や労務が非常に忙がしくて大勢稼動した日は、その人数だけ食べさせてもよいが、その喰い込んだ分はあとで減らさなければならないこれは一日ごとの制限ではなく選挙期間中延べの制限である。また選挙事務所以外での弁当は認められていない。但し運動員やアルバイトが運動や労務に出掛けるため携行する弁当は途中で仕入れても差支えないことに認められている

(続)

専用理髪店 労働者福対協で

労働者福祉対策協議会平地区協議会では、平市理髪組合に対し労働者に対する料金の三割引指定店を申入れ折衝中だつたが十八日同組合から申入れ拒否の解答を受けたので、平地区福対協では平駅前に会員専用の理髪店を独自で新設することになつた、

同福対協の会員は常磐炭砿、平市役所、国鉄など三十五組合、二万二千名が加入している、なお専用理髪店の設立資金は十七万円で会員一人当り五十円づゝ負担する、同店完成後の理髪料は一人六十円程度になる見込、

天気予報

(今晩)南よりの風やゝ強く晴れ(明日)南又は南西の風まだ幾分強く晴れ山沿地方では時々曇り(海上)今晩は風波やゝ高く明日も風波あり小型漁船は注意を要す

御婚礼家具 一式 御引物用 漆器類 豊富取揃 あるが 平銀座電223番

誰方でも安心して使える ふくふく綿 2丁目 平製綿KK 電748 1958

銘菓 平ぴん餅ぴん 松月堂

ラジオ古山

明るい 静かな スタンドバー 若草 平市紅小路(大床横)

胃腸科 外科 呼吸器科外科 整形外科 産婦人科 放射線科 平市大町 電一五四番 マツオ医院 院長 松尾正平 医員 原徳之 放射線科 杉田昭二

▼どこよりも……品質の良い ▼どこよりも……うまい ▼どこよりも……安い 平凡の 和菓子 洋菓子 斤菓子 六段最中 羊羹 御祝儀に御法事に御利用下さい 平駅前 平凡 TEL509

平市合併記念 全市連合 福引大売出し 特賞 1万円が 名様に当る!
特等……10000円(10本)
1等……砂糖一俵
2等……以下賞品山積み
☆空くじなし☆
1月20日~26日
平市連合商店會

自稱病院長捕る

バレタ家伝漢法化学綜合特効薬

旅館住いで郡民僞す

平署では二十日午前八時ごろ磐城市泉町駅前「錦屋」旅館に住居を持つ山田辰治(七四)を医師法違反容疑で逮捕した。

五日分で五百圓 既に数十万の荒稼ぎ

山田は医師の免許を持たず、東京都中野区大和町山田病院院長と称して、石城郡下小川村農業草野喜佐松さん(五九)他数十名に対し医療行為を行つていたもので、薬は薬局から買い求め自分で調合し「家伝漢法化学総合特効薬」と名ずけ下の病に効く薬であると五日分で五百円を取つていたもので、泉を中心に山間部に足を延ばし、医療を行い、現在までで数十万円もの金高を上げている。

なお山田は指圧療法の講習を受けているが免許証はもつておらず、平署では事件の細部を追求中である。

布川君表彰 常磐署から

常磐署では常磐市長倉小校六年生布川貞美君(一二)を近く表彰する。布川君は去る一月二十日同市湯長谷字湯台常地内山林の山火事を発見逸早く警察と消防署に急報して消化に協力、大事に至らず消しとめたもの。

合併に歩み寄る 菊多五カ町村の合併

菊多方部の植田、錦勿来、山田、川部の三町二カ村合併促進研究会は二十日午前十時から植田町役場に関係者らが集つて開かれ、結論には尚話合が残されたが一時硬化していた錦町などの空気がこの研究会で大部軟化した

同方部の合併問題は去る十一日の第一回懇談会以来、各町村毎に合併後の財政、建設計画などを検討していたが、積極的になつて来た錦町をはじめ、二町一カ村案を固持している勿来町、も「五カ町村案を研究することには異論はない但し五カ村合併促進協議会には出席出来ない」と言う意向のため、十八日に協議会で決定していた第三回合併懇談会を急に「研究会」に切替えて開かれたもので、この会合により各町村とも大部軟化し合併に一歩前進した空気である

平労基署 赤石沢第一課長は二十四、五の両日福島市で開かれる労基署一般事務打合せ会に出席のため二十三日出福する。

磐城市で日本大動物園

文部省教育庁推せん毎日新聞社後援の、日本大動物園は、二十三日から二十六日まで磐城市小名浜第二小校校庭で公開される、これは象さんの珍芸、ライオンの曲芸、其の他猛獣珍鳥等数十種であり、地元小中学生は目で見る社会科教室が来るとよい子たちから旧正気分と共に前人気を呼んでる

第二小増築など入札

磐城市では十九日午後一時から市役所で、▽第二小校の増築(八教室)予算七百五十万円 ▽鹿島小校増築(特別教室を含む四教室)予算二百十三万七千円▽渡辺診療所新築(六十九坪)予算二百五十万二千円の諸工事に就いて関係者を集めて説明会を開いた、この請負入札は二十二日午前九時から市役所で行う、

ポン所持男

常磐署は覚せい剤取締法違反の疑いで調べていた同市三函無職小林政四郎(三九)を廿日、身柄送検した小林は去る十三日常磐署のヒロポン一斉手入にあい、五〇〇入り二十六本を持つていたのがバレたもの。

カバン置引

十九日平着午前三時三十四分下り二二一列車に土浦から乗車して来た、石城郡大浦村狐塚字小橋佐久間元孝さん(三〇)=大浦農協組合技師=は網棚に上げて置いた書類在中手提カバン一個二千円相当を盗まれたと平駅道公安室に届出た。

災害防止 四月から五ヵ年計画で ズリ山の砂防に着手

昨年の十四号台風によつて被つた河川、道路家屋のほか中、小炭砿の体廃山など推定総額五億円を超えると言われている常磐地方の災害復旧対策に当り各関係市町村ではこれら復旧の早急着手を要望、失対事業所と種々協議する一方建設的対策を練つてきたが、それらの災害の原因が各炭砿によるズリ山の末処置にあるとして、全面的にズリ山に対する治山事業(砂防工事)に乗り出すことになり、常磐地方に於ける各中、小炭砿四十数砿を含む広域炭砿地区に就いて約一億円に昇る砂防事業費を計上、四月から発足される特別失対事業の一環として三十年度から五カ年計画で着手することになつた、

中でも常磐炭砿地区最大の損害を被つたと言われる白水、入丸方面の各炭砿区一帯に対しては各地元町村の緊急要望を容れ、二十五日から特別二カ年計画を以つて三百十三万円で県直営の積極的治山対策に本腰を入れることになつた。

石積や植樹で ズリの流出を防止

同ズリ山の土砂流出により最も大きく被害を受けている河川は新川藤原川であると言われ、新川の如きは年々一米以上も浅くなつている事実などからズリ山に対する土砂崩流の防止を強調して同建設に当ることになつたものである、

同失対事業所では三十年度(四月から)から本格的建設工事に着手事業は特別失対事業として炭砿失業者を大々的に吸収、各ズリ山に対し石積を施こし、その上クイ枠を階段式に建設、一番成長の早いと言うアカシヤの木を植樹することにより、砂防するというもので炭砿失業者を活用して同工事に当ることに就いては目下考慮されている問題であるが、財源が豊かであるとして除外され、六大都市でのみ試験的に実施されている特別失対事業の成行きが効果的であれば常磐地方でも、早急にこれらの方法を採用、極力炭砿失業者を就労させ、救済対策の開拓にも力こぶを入れることになるものとして関係各市町村からの期待は非常に大きく失業者から注目を集め成行きが重視されている。

38、530人 磐城市の有権者

磐城市の選挙有権者数がまとまつたそれによると磐城市は江名、小名浜各港の漁夫の移動で多少の差はあるが総人口五万五千余人のうち有権者は女一万五千十九名、男一万三千五百十一名計三万八千五百三十名となつて居り女の有権者が一千五百八名も多い、

大谷石 井上 平電66

市職組が決議書 期末手当の追加支給

平市役所職組では二十割要求に対して、「県下の旧四市と同調、支給方を考慮するが、財源がないから…」との当局要請で一人当一、二五カ月分支給をのんで来たが、同職組が其の後県下の各市に問い合わせ調査したところ、

◆郡山市一、五カ月支給、ほか女子職員に対し事務服費一千二百円支給、◆福島市一、二五カ月支給、要帯者一千円、独身者五百円、◆若松市一、三五カ月分とそれぞれ支給されていることが判つたので、旧ろうの臨時大会席上決議した「最底線一、四五カ月分獲得」額と支給された一、二五カ月分の差額〇、二カ月分の支給方を改めて市当局に要求することになり、二十一日(予定)臨時大会を開催、正式決議すると共に旧正月分として早急支給するよう決議書を手交すことになつた。

更に市職組は同ボーナスの支給方交渉と合わせて◆給与の凸凹調整について(昇給の都度考慮是正する)◆通勤手当の支給について(支給することは出来ない)など四項目を掲げ早急交渉に入ることになつたが、市当局は市職組に対し各四市に対し調査、究明した上更めて再考慮するということで一、二五カ月分支給に留まつたものであり、市職組はこれに対して、市当局はすでに調査済みのはずであることを強調、旧正月分として積極的交渉を開始することになつた

御詫び

先頃当店にて販売致しました一ヤール三八〇円の別珍御買上げの御客様へ謹しんで御詫び申上げます 先日はわざわざ御買上げ頂きましたにも拘わらず粗悪品であることがわかりましたので誠に恐縮に存じますが早速別商品と御取り換えさせて頂きます

御客様各位

株式会社 大黒屋

十俵を押收 ヤミ米取締

平署では署員と機動班半分遣隊十五名を動員して二十日午前一時十分平着常磐線上り二二二列車に四倉駅より乗り込み主食一斉取締を行い無主物十二個十俵を押収したダンボール箱に米を入れ洗面所の下に隠して置き箱の中に箇数送荷量、前回の送荷期日などを記載してあるもの、▽セメン袋に一斗づつを入れたものが二個風呂敷に包んであり、送り状の様なものがあつた、カツギ屋も自分の手で運ばず、あらかじめ宛先と連絡をとつて持主のない米を送つているものとみられ、ヤミ米の輸送も一段と智能的になつて来たようだ、

柔剣道の紅白試合 二十一日平署で

全署員百余名が参加して柔剣道紅白戦、個人戦を行い納会とする事になつた、なお署長賞など盛りたくさんの賞品が出るので署員は練習に励んでいる、

一町目 質 山田

売家宅地 有ります
◎委細面談
連絡場所 電五一〇番

労災保険指定
外科 諸橋医院
平市下川原四 電一〇八三番

旧年末年始 連合福引大賣出し
二重特別サービス
御婚礼・調度品一式
御贈答用品
是非御来店 このチャンス
御一覧下さい
家具のデパート 伊東家具店
平市新川町 電464
平市本局前販売店 電950
工場 大町 29—30番

新春特別サービス
…暖房付ロマンスカー…
◎竹駒神社元朝詣り
一月二十三日午前八時平発、二十四日午前八時平着
会費お一人様金五百円 ▽座席指定券発売中
◎成田山初詣り(日帰り)
一月二十九日(旧正六日)午前五時平発・午後十一時平着
コース=水戸・鹿島神社、香取神社、成田山参拝、
会費お一人様金六百円也▽座席指定券発売中
お弁当は各自持参下さいませ
常磐交通自動車株式会社 観光課
電話(代表)二二〇〇—三

看護婦募集
一、有資格者及見習經験者 若干名
右至急募集致します
金成医院
平市鍛冶町 電八二六